

# 令和7年度 東村山市立萩山小学校 学校経営方針【グランドデザイン】

教育目標 「萩のようにやさしく 山のようにつよく」

◎励む子【課題解決力】 ○鍛える子【実践力】 ○やり抜く子【自己調整力】 ○真心あふれる子【人間性】

目指す学校像

「誰もが互いのよさを認め合い、自己実現に向けて  
努力しようとする魅力あふれる学校」

【最後までやり抜きよく励む子の育成】

- ・校内研究(国語科)の授業研究の推進  
「見通し→実践・行動→振り返り  
(AAR)」の具現化
- ・ICTの活用から次のステージへの移行  
児童自身が主体的に学びの方法を  
選択
- ・必要感に裏付けられた協働的な学び  
自らの考えを深める対話的な学習

【真心あふれる子の育成】

- ・「いじめ見逃しゼロ」に向けた共通認識  
学校いじめ対策委員会における組織的  
対応
- ・「登校をあきらめない」ための支援体制  
居場所づくりや絆づくりに関する取組の  
重視
- ・「誰一人取り残さない」教育の実現  
児童一人一人の特性に配慮した支援  
体制の確立

【地域とともにある学校の実現】

- ・外部講師等を活用した学習活動の充実  
地域協働活動年間指導計画の作成
- ・「いつでも・どこでも・誰にでも」情報の  
発信  
学校ホームページの充実、児童の情報  
発信
- ・校種を超えた学校間連携体制の構築  
SDGsの視点を踏まえた行動目標を  
共有

【心と体を鍛える子の育成】

- ・主体的に社会に参画する意識の育成  
自治的な児童会活動、学級会の運営力  
育成
- ・日常的な運動習慣の確立  
学級遊びの設定、体育指導力の向上
- ・望ましい生活習慣の確立  
家庭と連携し自律的な生活をする力の  
育成

【人材育成(研究・研修)】

- ・人材育成の柱として位置付けた校内研究の推進
- ・主任教諭が主体となった校内OJT委員会の組織
- ・コンプライアンスリーダーを中心に教職員相互で服  
務事故の未然防止
- ・指導教諭の模範授業や公開授業をの成果を広く校内  
に伝達する研修体制の構築

【ライフ・ワーク・バランス】

- ・自己申告を活用した教職員の学校運営参画意識の向上
- ・東村山スマートスクール構想に基づいた校務のDX化の推進  
教職員の働き方改革の推進と効率的で確かな職務の遂行
- ・教職員のライフ・ワーク・バランスを重視し、平日週1回以上の  
定時退勤の設定と在校時間の縮減に向けた計画的な業務改善
- ・風通し良い明るい職場環境の構築、教職員の心身の健康管理

